

ニュース トピックス
NEWS & TOPICS



ヤム・ニ・ウシ美術展

栗山町内在住の児童文学者で詩人の友田多喜雄さんのコレクションを展示するヤム・ニ・ウシ美術展「中国の民間十二支版画と剪紙馬」が町図書館で開催されました。古代中国で生まれた十二支の動物たちを中国の民衆が描いた版画12点と、午年にちなんだ馬の剪紙（切り絵）11点が展示。現代美術界をリードする趙無極（ザオ ウーキー）、李禹煥（リー ウーハン）、郭仁植（カク インシュク）の作品3点も特別展示されました。

（1月7日～19日）

厳しい冬を楽しもう*冬の里山塾

子ども冬の里山塾（NPO法人雨煙別学校主催）がハサンベツ里山などで開催されました。子どもたちに北海道の冬ならではの自然からの恩恵や、冬の楽しさを知ってもらおうと今年で3回目。4年生から6年生までの児童10人が、越冬野菜の収穫体験やスノーシューで散策するなど冬の里山を満喫しました。札幌市豊平区から参加した佐藤まりのさん（小学6年生）は「初めてスノーシューを履いたけど雪の上を上手に歩いておもしろかった」と話していました。

（1月13日～15日）



新年を書で表現*今年の漢字

新年の目標や抱負を漢字一文字の書で表現する工房体験事業「2014今年の漢字」があさひ工房で開催されました。講師に書家の奥田秋湖^{しゅうこ}さんを迎え、小学生2人を含む10人が参加。文字を崩したり、絵の具やパステルで色を付けたりしながら思い思いに表現していました。「習」の文字を書いた飯田栄子^{えいこ}さん（81歳）は「新しいことに挑戦し教わることの習うを一文字にしました。とても面白いです」と話していました。

（1月18日）

白熱した木札の取り合い*全町かるた大会

栗山町青少年育成会主催の全町子どもかるた大会が、南部公民館で行われました。小学生9チーム、中学生チーム6チームが参加。木札を取り合う気合の入った声が響くなど、1枚を争う白熱した試合が行われました。小・中学生の部それぞれ上位2チームが、2月1日に全空知大会（芦別市）に出場します。

◆成績 【小学生】優勝:栗山A 準優勝:角田花組 3位:角田雪組
【中学生】優勝:角田星組 準優勝:栗山A 3位:角田宙組

（1月19日）



歴史を学びながら、美味しい料理を食べる!!

ミシュラン1つ星「あじところ 味道広路」の里山のお昼ごはん

栗山の冬野菜料理と幻の美酒鍋

道産米のこだわりの新酒

幻の漬け物

農家のお母さんと漬け物作りに挑戦

栗山町生涯学習情報

マナビイ

栗山町教育委員会
総合福祉センターしゃるる
TEL72-1117 FAX72-6522

里山の歴史と食文化塾

北海道ならではの歴史に触れ、栗山の食文化を堪能しませんか。国で指定している有形文化財「小林酒造酒蔵群」を始め、旧雨煙別小学校など歴史的建造物を栗山町出身の建築デザイナー藤島^{たかし}さんが、歴史的背景や今後の活用方法について講演します。栗山町で地場の農産物を使って食文化作りをしている小林酒造（株）や北海道三富屋^{みとみや}、味道広路、グリーンツーリズム推進協議会の皆さんが、新旧さまざまな栗山町の食文化をお伝えします。

- 【日時】 2月22日(土)～23日(日)
- 集合 22日(土) 午前10時45分
- 解散 23日(日) 午前11時
- 【場所】 雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス
- 【定員】 40人（最少催行人数20人）
- 【参加費】 12000円（1泊3食付）
- 【申込期限】 2月14日(金)

図書館へ行こう!!

図書館休館します

蔵書点検のため休館します。角田・継立分室は通常通り開館します。期間 2月17日(月)～25日(火)

ブックリサイクル市

日時 3月8日(土) 10:00～13:00
内容 小説、辞典、絵本、ビデオなど
冊数 一人20点まで（ビデオは1点）
※本を入れる袋をお持ちください。

求人情報コーナーをご利用ください

- ハローワーク求人情報冊子
- ①夕張版（栗山・由仁・長沼）
 - ②岩見沢版
 - ③千歳・恵庭版
 - ④苫小牧・安平版
 - ⑤札幌近郊版



＝ スケジュール ＝

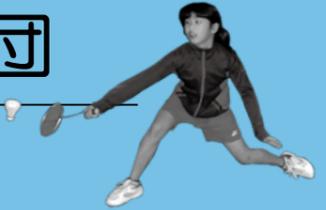
2月23日(日)		2月22日(土)												
11:00	8:30	7:30	20:00	18:00	17:00	14:00	12:15	11:00	10:45					
解散	体験	お母さんに教わる漬け物作り	朝食	栗山産野菜を使って、農家の	夜会	幻の漬け物を食べながら語らい	夕食	幻の美酒鍋、特別酒の	フリータイム	小林酒造酒蔵見学	昼食	里山のお昼御飯	雨煙別小学校見学・講演会	集合オリエンテーション

申込先・問い合わせ
参加者氏名、ふりがな、性別、住所、電話番号、Eメールアドレスを電話、FAX、Eメールのいずれかで申し込みください。
NPO法人雨煙別学校
☎1696（FAX兼用）
Eメール: info@unbetsu.jp
※火曜日休館



連載 仲間と一緒に"からだ"と"ところ"を育てる場 =スポーツ少年団訪問=

栗山バドミントンスポーツ少年団



連絡先
指導者 上田幸江
☎72-1128

【設立】 昭和56年
【団員数】 23人
【指導者数】 6人
【対象学年】 小学2年～6年生
【活動日】 火曜日(16:00～18:00)、木曜日(2～4年 16:00～18:00、5.6年 18:30～20:30)

【練習会場】 スポーツセンター、栗山小学校体育館
【会費】 1,000円/月
【用具費】 ラケット約10,000円、室内靴約4,000円

牛田克彦作品巡回展

「版画に見るふたつの昔のへんこ」

- ◆月日・場所
・2月11日(火)～16日(日)
カルチャープラザ「Eki」
・2月18日(火)～23日(日)
南部公民館
- ◆時間
・2月26日(水)～3月4日(火)
農村環境改善センター
- ◆時間
午前9時～午後10時
※日曜日は午後5時まで
※農村環境改善センターは、月曜日
休館日です。
- ◆内容
昭和20～30年代の人々の暮らしを
描いた版画作品の展示
- ◆入場料 無料
- ◆問い合わせ
教育委員会社会教育グループ
☎1117

学校開放事業一部変更

- ◆問い合わせ
教育委員会学校教育グループ
☎1117
- ◆問い合わせ
教育委員会学校教育グループ
☎1117

手作り木工教室

- ◆日時
2月8日(土)・9日(日)・11日(祝)
8、9日 午前10時～午後4時
11日 午後1時～4時
- ◆場所
くりやまアートギャラリーKiroru
- ◆講師
家具工房森巢 宮本秀仁氏
- ◆内容
ナラ材を使って、本格的な木製
の机を作ります
- ◆参加料 35000円
- ◆持ち物 作業しやすい服、軍手、
弁当(8、9日)、かなづち
- ◆問い合わせ
家具工房森巢 ☎6466

新体力テスト

- ◆日時
2月22日(土) 午前9時30分～正午
- ◆場所
スポーツセンター
- ◆対象
20歳～64歳までの町民
- ◆内容
握力測定など6種目の体力測定
- ◆申込期限 2月20日(木)
- ◆申込先・問い合わせ
スポーツセンター ☎6161

健康ストレッチ・ヨガ教室

- ◆日時
3月11日(火)・18日(火)・25日(火)
午前11時～午後0時30分
- ◆場所
スポーツセンター
- ◆対象
20歳～70歳の方
- ◆講師
札幌健康ストレッチ・ヨガ愛好会
代表 渋谷和子氏
- ◆参加料 1500円(入館料含む)
- ◆定員 10人
- ◆申込期限 3月6日(木)
- ◆申込先・問い合わせ
スポーツセンター ☎6161

高齢者大学協力委員募集

- ◆対象
60歳以上の町民で平成26年度高齢
者大学受講予定者
- ◆募集人数 20人程度
- ◆募集期限 2月21日(金)
- ◆申込先・問い合わせ
教育委員会社会教育グループ
☎1117

栗山バドミントンスポーツ少年団は昭和56年に発足。バドミントンは多彩な技術でシャトルをラインぎりぎりに落とすなど、繊細なラケットコントロール、そして体力が必要なスポーツ。キャプテンの山本陽菜さん(栗山小6年)と保護者、指導者から話を聞きました。



「選手に聞きました」
楽しいと思うときは

イメージ通りに対戦相手を揺さぶり、スマッシュでシャトルを相手コートに落とすときがとても楽しいです。始めたキッカケは姉が楽しそうにプレーをしていたからです。

「選手に聞きました」
目標としていることは

南空知大会で準決勝までしか進んだことがないため、決勝の舞台に上がれるよう仲間と一緒に頑張りたいです。

「保護者に聞きました」
入団して良かったことは

体力、そして集中力がついたこと

「保護者に聞きました」
指導者はどんな方ですか

上田先生をはじめ指導者の皆さんは、熱心に子どもを指導してくれま。技術的なことはもちろんですが、あいさつや礼儀などについても、ご指導いただいているので、とても感謝しています。

「指導者に聞きました」
どんな指導をしていますか

「挑戦する気持ちを大事に」欠点を無くすより、長所を伸ばす」を心掛けています。仲間と一緒に練習するなかで、技術の向上ばかりではなく、スポーツの楽しさと目標に向かって努力する諦めない気持ちとフェアプレーの精神を培ってほしいです。選手のみならず、少年団が自分の大切な思い出の場所になってくれたらと思います。



栗山町青年団協議会主催事業

サンタクロースはいるよ!!



ジングルベルが鳴り響く夜、町内に2人のサンタクロースがやってきました。栗山町青年団協議会(小川将吾会長)が子どもに夢をあたえようと毎年行っている「出前サンタ」事業。衣装を身にまとったサンタクロースは、家庭から預かったプレゼントを子どもたちに手渡しました。サンタ役の原田恭兵さんは「子どもたちが『やったあ! サンタさんに会えた!』と声をあげて喜んでくれてとても嬉しかったです。来年もこの事業を続けていきたい」と話していました。(12月24日)